

# ZENGIRENnews

全技連ニュース

January, 2020

No.010

## 目次

- 2 会長挨拶
- 4 昨年の全技連の主な動き
- 7 令和元年度「全技連会長賞」受賞者の皆さん
- 8 今年の主要行事予定
- 9 全技連マイスターそして現代の名工
- 13 令和元年度全技連マイスター認定者
- 14 令和元年度全技連マイスター更新認定者

# 技能士が社会的貢献する年に



一般社団法人  
全国技能士会連合会  
会長  
**大関 東支夫**  
*Toshio Oozeki*

令和に改元されて初めての新年を迎えた。

今年が皆様にとって、そして日本にとって素晴らしい幕開けになることを心から期待したいと思います。

私も「自分の人生で最大の決断」の年だと覚悟しています。

これまで台風は沖縄通過が一般的でしたが、一昨年は関西地域に、昨年は関東、東北、北陸地方を通過し大きな災害をもたらしました。

千葉県では2か月足らずの間に100年に1度の規模という暴風、水害が3回も起きました。私が滞在していた箱根のマンションでは、一日で1000mm以上の豪雨に遭遇。隣接する1000年以上の歴史を誇る神社が崩れて土砂や大木が玄関に流れ込み30時間近く閉じ込められました。

100年に一度、1000年に一度という災害が身近に当たり前のように起きてしまう。これから真剣な対応が求められてきます。

この災害復興には多くの技能士の力が必要になります。災害が起きたたびに感じるのは技能士の絶対的不足です。これまで何度も言ってきました、「技能士の不足は単にものづくりの危機だけでなく国土、国民を守る危機」になっているのです。

NHKで千葉県の畠屋さんの話が放映されていました。

被災者から畠の注文がたくさん来るので一日も早く届けようと頑張っていたが次の台風で倉庫が屋根ごと飛ばされ使えなくなった。それでもめげずに頑張っていたらまた次の台風が襲来。悔しいがどうにもならないというのです。

私の郷里、栃木県佐野市では1万枚もの畠が水浸しになり処分されていました。風速50メートルの暴風で屋根瓦が飛び、数百軒の家がいまだにビニールをかぶせて凌いでいます。

被災地の職人だけでは10年かけても解決できない規模です。国や自治体も予算措置はしますが事の本質が分かっていないようです。技能士不足、技能士の活用という現実的な課題に取り組むべきです。

ボランティアもたくさん見えます。しかし清掃や後片付けの人たちがほとんどです。技能士がいなければ屋根も畠も壁も直せないです。

来年も同じ被害が各地に起きるかもしれません。応援を心待ちしている人たちが大勢いるはずです。

いま、私たち技能士会は何もしないで手をこまねいているわけにはいきません。

だが現実は、全国各地に応援をだしたくても支援する仕組みも資金もありません。

ご案内のように現在、全技連の会員数は約10万人です。会費としていただいているお金は総額1000万円ほどです。これは一人当たり年間100円です。このお金で事務

所経費、総会、イベント経費等に当てています。8年前の国の事業仕分けで4000万円近い補助金が全額削減されましたが会費の値上げもせず頑張ってきました。

事務所経費はマイスター会、東技連と同室にして経費節減に努めています。事務所職員は最低賃金法スレスレです。当然、役員は無報酬、参加費すら払えません。これ以上の経費削減は不可能であります。1~2年後には財政破綻となります。

そこで提案させていただきます。会費を一人年間1000円程度にさせていただく。そうすることで

1. 一定の額を基金として積みあげ（約2000万）、災害時等の応援体制に備える
2. 地方から東京等での会議、イベントに参加する代表者の旅費等の一部負担
3. 地域のイベント等開催に一定の経費補助（20~100万円程度）をする
4. 若年技能者等後継者育成（企業、大学、海外派遣等）
5. IT関連、営業関連との連携を図り技能価値を高める
6. 技能士会の財政破綻を避ける。ことが可能になります。

いま世の中が求めること、技能士にしかできないことをやる。これこそが技能士の社会貢献です。社会的貢献なくして技能士の社会的向上はありません。技能士が国民から尊敬されてこそ社会的評価も高まります。

今回の提案にぜひご理解、ご協力いただきたいと思います。

今年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。

大会の成功と平穏な一年を願うばかりです。

しかし世界はそうした願いをあざ笑うかのように動いています。

一つは米中冷戦時代の到来です。

二つ目は英国のEU離脱、日韓問題、北朝鮮動向、アマゾン等の環境破壊です。

三つ目はこれら問題を解決する組織、国、リーダーがいなくなつたことです。

国連もEUも組織として機能しなくなりました。人間核兵器的リーダーが林立してきました。第二次大戦前に酷似した世界になっています。これからものづくりは戦争のために使われることが多くなります。

日本は冷静であるべきです。

いま、世界でのものづくりを平和的に推進している国や都市は地味ですが元気です。

日本は地道にものづくりの道を歩まねばなりません。ものづくりは人を幸せにしなければなりません。

私たちは時代環境を注視し、世界から日本が尊敬される活力のある国にする必要があります。

今年が皆様にとって輝ける年の幕開けになることを祈念します。

# 昨年の全技連の主な動き

## 天皇陛下御在位三十年記念式典

天皇陛下御在位三十年記念式典が平成 31 年 2 月 24 日(日)に国立劇場で開催され、各界の代表の一人として全技連の大関会長が招待され参列しました。

2月

## 天皇陛下御在位三十年記念 第30回技能グランプリ開催される



天皇陛下御在位三十年記念 第 30 回技能グランプリが、神戸国際展示場(神戸市)をはじめ 7 会場で、平成 31 年 3 月 1 日(金)～4 日(月)(一部の職種は先行して実施)に開催されました。全国から 30 職種に 533 人の熟練技能者が参加し技能日本一を競いました。3 月 1 日に兵庫県立文化体育館(神戸市)で行われた開会式では、大関会長より参加証書が授与され、3 月 4 日にポートピアホール(神戸市)で行われた閉会式では、大関会長より全国技能士会連合会会長賞が新潟県、三重県、京都府の 3 選手団へ授与され、また、大関会長より閉会の主催者挨拶をされました。

3月

## 平成30年度 第2回通常理事会を開催

3 月 14 日(木)に東京洋服会館(東京都新宿区)において、平成 30 年度第 2 回通常理事会が開催されました。決議事項として平成 31 年度事業計画(案)及び収支予算(案)、平成 31 年度定時総会の議案について審議され、全ての議案が満場一致で原案どおり承認決議されました。引き続いて平成 30 年 4 月以降の業務執行報告があり、閉会となりました。

## 5月1日より年号が「令和」となる。

5月

## 令和元年度 第1回通常理事会並びに定時総会を開催



6月 17 日(月)に TKP ガーデンシティ PREMIUM 神保町(東京都千代田区)において、令和元年度第 1 回通常理事会並びに定時総会が開催されました。通常理事会においては、決議事項として、平成 30 年度事業報告及びその附属明細書の承認、平成 30 年度貸借対照表並びに損益計算書及びその附属明細書の承認、令和元年度事業計画(案)及び令和元年度収支予算(案)の変更の承認、常務理事の選定について審議され、全ての議案が満場一致で原案どおり承認決議されました。引き続いて平成 31 年 4 月以降の業務執行報告があり、閉会となりました。

6月

## 全技連マイスター第2次審査講習会を開催

8月

8 月 2 日(金)にアルカディア市ヶ谷(東京都千代田区)において、全技連マイスター第 2 次審査講習会が開催され、第 1 次審査に合格された 104 名(昨年度第 1 次合格者 3 名を含む)のうち、100 名が参加されました。

大関会長による「全技連マイスター・指導者の役割について」に続いて、先輩全技連マイスターの小林重行氏(家具製作職種)、飯島勇氏(内装仕上げ施工職種)から自らの体験を基にした全技連マイスターとしての事例発表が行われました。

事例発表に続いて、全技連マイスター活動等についての意見交換会が行われ、受講者が日頃から疑問に感じていること、全技連マイスターとして今後どのような活動を行っていかなければよいかなど、多くの意見や質問が出され活気ある意見交換の場となりました。

なお、今年度の全技連マイスター認定者及び平成 26 年度認定者並びに平成 26 年度更新認定された方々に対する更新認定者の一覧を 13 頁～15 頁に掲載しております。



## 子ども霞が関見学デー 親子ものづくり体験教室を開催



8月

厚生労働省では、文部科学省をはじめとした各府省庁と連携し、子供たちに業務説明や省内見学などを行う「子ども霞が関見学デー」を8月7日(水)、8日(木)の2日間開催されました。その一環として8月8日(木)に厚生労働省において、全技連による「親子ものづくり体験教室」が行われ、「ミニシェードランプ製作」と「だるま製作」を行いました。

この行事は、毎年恒例となっているが、参加した多くの子供たちに喜ばれており、前年に引き続き一般社団法人日本内装仕上技能士会連合会(会長 飯島勇氏)、東京木工塗装技能士会(会長 山中重則氏)にご協力を頂いて実施されました。

## 即位礼正殿の儀、饗宴の儀

皇位継承に伴い、新たに即位した天皇陛下の「即位礼正殿の儀」が令和元年10月22日(火)に、また、「饗宴の儀」が令和元年10月31日(木)に皇居・宮殿で行われ、各界の代表の一人として全技連の大閥会長が招待され参列しました。

10月

## 第39回全国技能士大会を開催

11月1日(金)にアルカディア市ヶ谷において、中央職業能力開発協会との共催による第39回全国技能士大会が開催され、各都道府県等の技能士会・連合会、職業能力開発協会及び関係団体から約270名が参加されました。

第一部は式典の部となり、大閥会長、田邊中央職業能力開発協会理事長からの主催者挨拶に続いて、ご来賓として出席された厚生労働省人材開発統括官付 能力評価担当参事官 釜石英雄様よりご挨拶をいただきました。



11月

その後、令和元年度一般社団法人全国技能士会連合会会長表彰状の贈呈、令和元年度全技連マイスター認定証の交付式が行われました。

第二部は、株式会社外交政策研究所 代表の宮家邦彦氏より「日本をとりまく国際情勢の近況と今後」と題して、中国、北朝鮮、アメリカ、ロシア、ヨーロッパ、中東などのそれぞれの関係、思惑など世界情勢についてユーモラスに、わかりやすく解説され、講義終了後も多くの質疑応答があり盛況のうちに終了しました。

最後に、一般社団法人全国技能士会連合会の理事である茨城県技能士会連合会の渡邊洋一会長より大会決議(案)の提案があり、満場一致でご賛同いただき、提案どおり採択されました。

また、大会終了後、懇親会が行われ、特別講演の宮家氏も飛び入り参加されるなか、多くの技能士の方々が異業種交流の場として参加されました。

今大会を盛大に催すことができたのも、各都道府県の技能士会・連合会、職業能力開発協会及び関係団体の皆様方のご尽力の賜物です。厚く御礼申し上げます。

なお、今年度の一般社団法人全国技能士会連合会会長賞受賞者一覧を7頁～8頁に掲載しております。



## 令和元年度 全国技能士大会決議

令和になって最初の大会となりました。

平成の30年間は、バブル崩壊、ものづくり拠点の海外流出、非正規労働者増加による技能継承の危機、所得格差拡大による価格競争激化などものづくり産業にとっては正に、「失われた30年」がありました。

令和の時代は、ものづくりが正しく評価され技能士が夢を持てる社会にしなければなりません。

世界は、米中冷戦、日韓・北朝鮮問題、中東問題、自国第一主義の台頭、アマゾン破壊などと極めて不安定で危険な状況下にあります。

いま、ものづくりを平和的に推進している国や都市は、地味ですが元気です。日本も地道にものづくりの道を歩まねばなりません。私たちは、日本を世界から尊敬される活力のある国にしていく必要があります。

私たち技能士会は、地方を元気にし、日本を活力のある国にし、世界中から安心して訪れてこられる国にするため積極的な活動を進めています。

### 記

- 1 国や地方自治体が、ものづくりの重要性と災害時の技能士不足の深刻度を真剣に受け止め、本腰を入れた技能士の育成、支援に取り組むよう求めていく
- 2 日本各地の自然と歴史を大切にし、地域の技能士が活躍できる

「地域ブランド」を育て、海外からの観光客が訪れる元気で魅力のある地方を目指していく

3 「技能士会員こそ本物の技能士である」このことに誇りと責任を持ち、後継者育成に努め、技能士が真に尊敬され活躍できる社会を実現するための活動をしていく

# 昨年の全技連の主な動き

## 自由民主党「予算・税制等に関する政策懇談会」へ参加

11月8日(金)に自由民主党本部(東京都千代田区)で開催された「予算・税制等に関する政策懇談会」において、下記要望書を提出するとともに、福島事務局長から令和2年度予算をはじめ、技能士への支援を強く訴えました。

### 要望書

自由民主党の組織運動本部並びに政務調査会におかれましては、日頃より格別のご理解、ご支援を賜っておりますことを厚く御礼申し上げます。

さて、平成の30年間は、バブル崩壊、ものづくり拠点の海外流出、非正規労働者増加による技能継承の危機、所得格差拡大による価格競争激化など、ものづくり産業にとっては正に「失われた30年」がありました。

令和の時代は、ものづくりが正しく評価され、技能士が夢を持てる社会にしなければなりません。日本は地道にものづくりの道を歩まねばなりません。私たちは、時代環境を注視し、世界から尊敬される活力のある国していく必要があります。

技能士は昭和34年の技能検定開始以来697万人もの技能士が誕生しました。現在、370万余人の技能士が「衣・食・住・工」の現場において地道な活動を続け、日本のものづくりを支えています。

しかしながら、建設系技能士の絶対的不足に代表されるように、各種技能士が大量に不足し、東日本、熊本などを始め、昨年の西日本豪雨、今年の台風15・19・21号での記録的な暴風雨による災害の復旧・復興にも大きな遅れが出ています。技能士不足は、災害の復旧・復興の遅れに留まらず、産業の停滞、国土強靭化対策にも支障が出ており、単にものづくりの危機だけでなく、国土国民を守る危機にもなっています。

技能士会は後継者育成に力を注いで来ましたが、先の民主党政権下において技能士会への補助金が全額カットされ、地方組織の中には解散に

追い込まれるところも出ており技能士不足はますます深刻になっております。

民間企業による技能士養成が激減する中、私たち技能士会は「ものづくり」立国日本の火を消さないよう、会費中心の厳しい財源の中で技能継承、後継者育成に努めていますが限界にきています。現在に至るも政治や行政の光がほとんど当たらない状況が続いている。

一日も早く国及び地方自治体による具体的な支援策を打ち出し、「職人が高く評価され、生き生きと活躍できる社会の構築」が実現されなければ後継者も途絶え、地方のものづくりも衰退し地方創生も夢に終わります。

私たち技能士会は、地方を元気にし、日本を活力のある国にし、世界中から安心して訪れてこられる国にするため、今後も積極的な活動を行っていきます。

予算面や社会的評価を含めた一日も早い支援を強く要望します。

記

- 1 全国の技能士会組織が連携して活動するために必要な経費の支援  
(例:事務所賃貸料、事務員雇い上げ補助)
- 2 技能継承、後継者育成に対する具体的な支援  
(例:見習い期間中の給与補助)
- 3 技能士の社会的地位の向上、待遇の改善への支援  
(例:マイスター、1級技能士の仕様書等での格付け)

## 令和元年度 卓越した技能者の表彰式行われる

厚生労働省では、令和元年度の「卓越した技能者(現代の名工)」の表彰対象者150名を決定し、11月11日(月)にリーガロイヤルホテル東京(東京都新宿区)で表彰式が行われ、全技連マイスターから25名の方々が表彰されました。9頁以降の「全技連マイスターとして現代の名工」に受賞者の記事を掲載しております。

## 天皇陛下御即位記念 第57回技能五輪全国大会開催される

天皇陛下御即位記念 第57回技能五輪全国大会が、愛知県国際展示場(常滑市セントレア)をはじめ9会場で、11月15日(金)~18日(月)(一部の職種は先行して実施)に開催されました。全国から42職種の競技に1,239人の選手が参加し技を競いました。11月18日(月)に愛知県国際展示場「AICHI SKY EXPO」(常滑市セントレア)で行われた閉会式では、大関会長より全国技能士会連合会会長賞(特別賞)が埼玉県選手団、兵庫県選手団、栃木県選手団へ授与されました。



## 技能士カード・技能士手帳・技能士章記(楯・門標等)のご案内



ヘルメットマーク



全技連バッチ



机上用楯



技能士手帳



ガラス入り楯



屋外用門標

お申込み・お問い合わせは、各都道府県技能士会・連合会へお願いいたします。商品によっては、都道府県技能士会・連合会で取り扱っていないことがありますので、その場合は、一般社団法人全国技能士会連合会までお申込みください。

※お申し込みの際は、技能検定合格証書の写しが必要になります。

令和元年度  
「全技連会長賞」受賞者の皆さん

長年にわたり、技能振興及び技能士会活動について優秀な実績を残された事業所・団体及び功労者と  
会員技能士団体の永年勤続者に対して毎年全技連会長から受賞者に贈呈されるものです。

**1 技能振興事業及び技能士会活動に係る事業所又は団体（7団体）**

都道府県	事業所又は団体	役職	代表者氏名
山形県	山形県管工事業協同組合連合会	会長	鹿野 淳一
(株)五勇組		代表取締役	五十嵐 俊
埼玉県	埼玉県表具内装組合連合会技能士会	会長	塙田 孝司
	埼玉県建築板金技能士会	会長	樋口 忠勝
神奈川県	(一社)日本建築大工技能士会 横浜支部横浜協同建設会	会長	岩崎 秀雄
広島県	(株)ヒロテック	代表取締役社長	鶴野 徳文
(一社)全国日本調理技能士会連合会	沖縄県日本調理技能士会	会長	石原 昌明

**2 技能振興事業及び技能士会活動に係る功労者（133名）**

都道府県	氏名	所属技能士会・連合会名	役職等
北海道	長南 信洋	北海道旭川地方技能士会	会長
	田中 博	共和町技能士会	会長
	石山 盤夫	網走地方技能士会	会長
	黒田 利美	札幌建具技能士会	前会長
	遠田 一洋	稚内技能士会	会長
岩手県	外館 義美	久慈地区技能士会	前会長
	高橋 啓悦	北上地区技能士会	副会長
	西館 達雄	二戸地区技能士会	理事
宮城県	高橋 正行	(一社)宮城県調理師会	副会長
	佐藤 徳子	宮城県和裁技能士会	会計監査
	伊藤 年子	宮城県洋裁技能士会	常任理事 (会長代行)
	亀井 富保	宮城県建具業連合会技能士会	副会長
秋田県	田村 鑑栄	秋田県表装技能士会	会長
	佐々木 正美	秋田県大曲・仙北地区技能士会	会長
山形県	永井 裕公	山形県印刷業組合	組合長
福島県	曾根 英昭	福島県会津漆器技能士会	理事
	野内 晶	福島県日本調理技能士会	理事
茨城県	立川 浩三	茨城県連続茨城県建築大工技能士会	副会長
	澤畠 寿秀	茨城県置技能士会	会長
	安達 克敏	茨城県家具建具技能士会	副会長
	飯島 幸夫	茨城県鉄筋技能士会	
	坂口 登	茨城県真壁石工技能士会	副会長
群馬県	飯島 正雄	群馬県タイル技能士会	理事
	渡邊 弘	群馬県日本調理技能士会	専務理事
	佐俣 俊彦	群馬県西洋調理技能士会	会長
	田中 徹男	群馬県石工技能士会	元会長
	荒川 達也	株式会社大ライト工業所技能士会	会長
埼玉県	伊香 恵子	埼玉県フランク・装飾技能士会	会長
	澤田 賢一	(一社)埼玉県鳩・土木工業会技能士会	相談役
	山本 あさ子	埼玉県洋裁技能士会	相談役
	福田 博文	埼玉県表具内装組合連合会技能士会	前会長
千葉県	平井 善道	千葉県日本調理技能士会	副会長
東京都	都築 建一	東京都複合技能士会	技術副部長
	草川 幸郎	東京都和裁技能士会	副会長
	仁科 明	東京都タイル技能士会	副会長
	臼井 富美子	日本洋裁技能士会	副会長
	遠藤 利満	東京内装仕上技能士会	副会長
	庄司 隆	(一社)東京都日本調理技能士会	理事

都道府県	氏名	所属技能士会・連合会名	役職等
東京都	井ノ上 浩二	東京都椅子張り技能士会	会計
	房枝 マサ子	日本ファッショングリエーター協会	常任理事
	藤巻 今朝男	神奈川貴金属技能士会	会長
	小林 蹄	全国フローリング技能協会	副会長・相談役
	高野 安則	東京都塗膜防水技能士会	副会長
神奈川県	中島 良治	神奈川県タイル焼成技能士会	会長
	村上 博	神奈川県畳工業協同組合	理事長
	山本 直充	神奈川県工業塗装技能士会	技術委員会 副委員長
	庄司 幸平	(一社)神奈川県内装仕上技能士会	理事
新潟県	風間 清文	新潟県瓦葺技能士会	副会長
	町屋 悅子	新潟県和裁技能士会	理事
	後藤 さとみ	上越地区技能士会協議会	事務局長
富山县	金山 登喜男	富山県石工技能士会	技術指導部 部長
	野宇 正樹	富山県農業機械商業協同組合技能士会	副会長
	釣 賢一	富山県日本調理技能士会	副会長
	城 治彦	富山県造園技能士会	理事
	堀田 直樹	富山県表具師文化協会	常任相談役
福井県	立松 栄治	福井県板金工業組合	
	西原 相春	福井県インテリア事業協同組合	
山梨県	清水 浩二	山梨県畳技能士会	前会長
	功刀 平	山梨県建築板金技能士会	前会長
	渡辺 ひさ子	山梨県フランク・装飾技能士会	会長
	加々美 章一	山梨県鳩技能士会	会長
	中澤 俊貞	山梨県造園技能士会	
長野県	小布施 孝幸	長野県建設インテリア技能士会	副会長
	保科 文明	長野県表具絞り内装技能士会	事務局長
岐阜県	古川 利雄	岐阜県技能士会連合会	顧問
	廣瀬 峰代	岐阜県和裁技能士会	理事
	鈴木 秀成	岐阜県瓦葺技能士会	
静岡県	大月 博	静岡県日本調理技能士会	会長代行
	木高 利久	静岡県日本調理技能士会	理事
	植松 一仁	静岡県左官業組合技能士会	支部長
	渡邊 好章	静岡県かわらぶき技能士会	副会長
	青木 進	静岡県板金工業組合	技術顧問
	小楠 峰男	静岡県広告美術業協同組合	理事
	後藤 善孝	静岡県鳩技能士会	前会長
	鈴木 宏昭	静岡県浜松建築業組合技能士会	班長
愛知県	山崎 和彦	デンソーフラワー技能士会	会長
	熊谷 利美	ジェイテクト技能士会	会長
	宮崎 朋幸	オーケマ技能士会	会長
	宮坂 達也	日本車輌技能士会	会長
	村瀬 政彦	トヨタ自動車技能士会	評議員
	片山 政彦	アイシン・エィ・ダブリュ技能士会	事務局 評議員
三重県	山口 巧	総合建設伊勢技能士会	副部長
	宮崎 祐史	(一社)三重県技能士会表具支部	支部長
滋賀県	大神 敏臣	滋賀県広告美術協同組合	副理事長
	黒崎 康	滋賀県日本調理技能士会	理事
大阪府	吉澤 優	大阪府印章技能士会	会長
	田崎 稔基	大阪府調理技能士会	幹事
	川端 誠之	大阪府塗装技能士会	副会長
兵庫県	橘高 利信	兵庫県印刷彫刻技能士会	会長

都道府県	氏名	所属技能士会・連合会名	役職等
兵庫県	池田 吉弘	兵庫県塗装工業協同組合技能士会	会長
	中田 洋子	兵庫県洋裁技能研究協会	副会長
和歌山県	青木 佳子	和歌山県フラー装飾技能士会	理事・地区委員
	小森 清志	和歌山建設技能士会	会長
鳥取県	関根 久夫	和歌山県鳶技能士会	副会長
	岡田 博正	鳥取県畠振興技能士会	元会長
島根県	木山 由一	鳥取県建具技能士会	会長
	國光 洋志	島根県建築板金技能士会	事務局
岡山县	小林 高一	島根県瓦葺技能士会	副会長
	江角 洋子	島根県塗装技能士会	事務局長
徳島県	前谷 康彦	岡山県塗装技能士会	常務理事
	瀬尾 浩	徳島県室内装飾事業協同組合	
香川県	立川 俊二	徳島県左官技能士会	
	沖野 ひとみ	徳島県と裁技能士会	
愛媛県	神内 亜矢子	香川県と裁技能士会	
	吉岡 通伸	愛媛県鉄筋技能士会	理事相談役
福岡県	受川 忠永	愛媛県左官業組合連合会	副会長
	東司 フサエ	福岡県洋裁技能協会	名誉会長
佐賀県	安藤 征夫	福岡県内装事業協同組合	理事長
	齋藤 雅彦	(一社)日本和裁士会福岡県支部	支部長
熊本県	園田 久利	佐賀県豊技能士会	理事
	山田 清人	佐賀県造園協同組合	技術技能委員長
	濱田 忠男	佐賀建設組合技能士会	
	西川 清明	熊本県管工事業組合連合会	会長
	松本 一	(一社)熊本県防水工事業協会	会長
	中野 廣	熊本県建設大工事業協同組合	理事長
	倉喜 勝也	熊本県豊工業組合	理事長

都道府県	氏名	所属技能士会・連合会名	役職等
宮崎県	菊地 隆子	宮崎県ファッショントログレス技能士会	技術指導部部長
	野口 英幸	宮崎県板金工業組合技能士会	前会長
鹿児島県	熊本 桂三	宮崎県印章彫刻技能士会	前会長
	森山 隆治	鹿児島県タイル工業協同組合	理事長
沖縄県	濱崎 巍	(協)鹿児島県鉄構工業会	理事長
	翁長 孝子	沖縄県洋裁技能士会	会計
	佐久本 嘉光	沖縄県防水施工技能士会	理事
	大川 宏光	沖縄県製作技能士会	副会長
	普天間 直利	沖縄県造園・園芸装飾技能士会	理事
	主藤 正義	沖縄県フラー装飾技能士会	副会長
	手塚 多喜子	静岡県復具製作技能士会	理事
	富澤 浩一	(一社)全国日本調理技能士会連合会	常務理事
	川口 泰弘	(一社)福井県日本調理技能士会	会長
	梶原 信治	東京都日本調理技能士会	副会長
	岡田 孝志	東京都日本調理技能士会	副会長
	勝岡 隆	兵庫県石工技能士会	副会長
	時実 稔	全国石材技能士会	鳥取県理事

### 3 都道府県技能士会・連合会及び各職種技能士会・連合会役職員(5名)

都道府県	氏名	所属技能士会・連合会名	役職等
山口県	荒木 昭一	山口県技能士会連合会	元理事
田中 伸幸	山口県技能士会連合会	前理事	
大分県	佐藤 二郎	(一社)大分県技能士会連合会	監事
衛藤 善博	(一社)大分県技能士会連合会	前副会長	
田川 敦	(一社)大分県技能士会連合会	前理事	

## 全技連の今年(令和2年)の主要行事

令和元年度 第2回通常理事会

3月13日(金) 東京洋服会館

令和2年度 全技連マイスター認定申請・

平成27年度認定者及び更新認定者の全技連マイスター更新 申請期間:4月1日(水)~5月22日(金)

認定申請

令和2年度 第1回通常理事会・定時総会

6月12日(金) ハイアットリージェンシー東京  
(新宿区西新宿)  
※会場が昨年と異なりますのでご注意ください

令和2年度 会長表彰状贈呈者の推薦申請

申請期間:6月末~7月末

令和2年度 全技連マイスター第2次審査講習会

7月17日(金) アルカディア市ヶ谷

第40回全国技能士大会

11月6日(金) アルカディア市ヶ谷

## 全技連マイスター会の今年(令和2年)の主要行事

令和2年度 全技連マイスター会 理事会・通常総会

5月22日(金) KKRホテル東京

ものづくり・匠の技の祭典 2020 参加

11月第1週目途 都立産業貿易センター浜松町館

# 全技連マイスター そして 現代の名工 (順不同)

全技連マイスターの方で、  
令和元年度「現代の名工」に  
選定された方々をご紹介します。



北海道 造園  
わたなべ くによし  
**渡邊國善** さん  
札幌造園技能士会 相談役  
株式会社ホクト造園 会長



この度は名誉ある「現代の名工」として表彰され、身に余る光栄と思っています。令和という新しい時代の幕開けにこの栄を得たことは、新時代に多くの人に技能・技術を伝承しなさいとの責務を与えられたようで、身の引き締まる気がいたします。多くの全技連マイスターや先輩・仲間達の支えがあってのことと思い、この賞に恥じぬよう精進し、技能の継承・後進の育成に微力ながら尽くしたいと思います。



茨城県 石材施工  
さとうともあき  
**佐藤友昭** さん  
佐藤石仏彫刻 石彫佛師



石工の世界に入り40年、多くのお客様、先輩と仲間達に支えられ、この度、「現代の名工」という賞をいただくことができました。誠に感謝しております。これからも、こだわりを持ち、石に想いを残したいと願うお客様のためにも、誠心誠意、石彫に精進するとともに、若い人が石に興味を感じてもらえるよう、小中学校でのものづくり教室など、積極的に参加していく所存でございます。



熊本県 和裁  
しながわまさみ  
**品川正三** さん  
一般社団法人 日本和裁士会 熊本県支部 支部長  
全技連マイスター会 熊本県支部 会長



自分には縁がない賞だと思っていました。全技連マイスター会のおかげだと思います。自分ではまだ「名工」には達しているとは思っていません。これからも日々精進し、初心を忘れずに「名工」を極めていこうと思っております。私を育んでくれた数多くの皆様との出会いに心より感謝致します。

## 現代の名工

卓越した技能者を表彰することにより、広く社会一般に技能尊重の気風を浸透させ、もって技能者の地位及び技能水準の向上を図るとともに、青少年がその適正に応じ、誇りと希望を持って技能労働者となり、その職業に精進する機運を高めることを目的としています。

被表彰者は、①極めて優れた技能を有する者、②現に表彰に係る技能を要する職業に従事している者、③技能を通じて労働者の福祉の増進及び産業の発展に寄与した者、④他の技能者の模範と認められる者、のすべての要件を充たす者であって、都道府県知事、全国的な規模の事業を行う事業主団体若しくはその連合体又は一般社団法人若しくは一般財団法人、その他当該表彰を受ける者の推薦に当たる者のうちから、厚生労働大臣が技能者表彰審査委員の意見を聴いて決定されます。



三重県 寝具製作  
いとうみちはる  
**伊藤道治** さん  
一般社団法人 三重県技能士会 理事  
イヅモヤ 店主



この度、「現代の名工」という名誉ある賞をいただき、身の引き締まる思いです。これからを大切に、学ぶことを忘れず、そして後進の育成にも、一層頑張って行きたいと思います。感謝。



長崎県 陶磁器製造  
たけのした さちお  
**竹ノ下左千夫** さん  
青以窯



この度、「現代の名工」の表彰をいただき、大変うれしく光栄に思っています。これからも、技能の向上、人材育成に努めてまいります。関係の方々をはじめ、先輩、友人の皆様のご支援のおかげだと思っております。



**大阪府** 寝具製作  
にしおか えつこ  
**西岡 悅子** さん  
大阪府寝具技能士会 理事  
西岡寝具店

沢山の方々のお力添えをいただき、主人は18年前に、令和の年に私も受賞させていただきました。心から感謝申し上げます。

今後は、ものづくりの楽しさ、手作りの大切さを後世に伝えていけるように、また、技能向上、後進の指導・育成、寝具業界の発展のために努力して参りたいと思っています。



**山形県** 建築大工  
ひぐち たけみ

**樋口 岳美** さん  
株式会社丸健 技術部 部長

この度、卓越した技能者「現代の名工」という職人にとって名誉ある賞をいただき、大変光栄に思うとともに、身の引き締まる思いを感じております。

これからも感謝の心を忘れず、今後は業界の発展のため、建築文化の継承と次世代の育成に少しでも貢献していきたいと思います。



**群馬県** 表装  
ふじはし のぼる  
**藤橋 登** さん  
群馬県表具内装組合連合会 会長

この度の卓越した技能者「現代の名工」という名誉ある賞をいただき、大変うれしく思います。業界・関係各位のお力添えの賜物と、深くお礼と感謝を申し上げます。

今後は、業界発展のため微力ではありますが、尽力していくたいと思っております。



**富山県** 表装  
かわぐち まもる  
**川口 衛** さん  
川口内装 代表

この度は、卓越した技能者「現代の名工」として表彰されましたことは、大変光栄に思っております。

今後は、名工の名に相応しい職人であるよう仕事に精進し、業界の発展と後進の育成に尽力していく所存です。



**東京都** 貴金属装身具製作  
さかもと かつひこ  
**坂元 勝彦** さん  
東京貴金属技能士会 副会長

この度、「現代の名工」を受賞し、師匠、諸先輩、良き仲間など、業界並びに周りの方々の支援のお陰と深謝するとともに、身の引き締まる思いです。

これからは、微力ではございますが業界の発展のため、貢献していきたいと思います。



**石川県** 表装  
ながしま あきら  
**永嶋 明** さん  
石川県表具内装協同組合 副理事長

この度は、卓越した技能者「現代の名工」をいただきまして、身に余る光栄と思っております。これも皆様方、出会った多くの方々のおかげと感謝いたしております。

これからも、表具の技術が継承されますよう、より一層尽力してまいりたいと思っています。





熊本県 フラワー装飾

くまもと たえこ  
**隈本 妙子** さん熊本県フラワー装飾技能士会 副会長  
くまもとたえこフラワーデザイン教室 主宰

この度は、卓越した技能者として表彰していただき、大変光栄なことと身の引きしまる思いです。

自分が、多くの皆様にご指導いただきたいたように、後進の人材育成や業界の発展に尽力し、自身の技術の研鑽に努めていきたいと思います。



神奈川県 印章彫刻

たけい よしお  
**武井 良雄** さん全国印章技能士会連合会 監事  
神奈川県印章高等職業訓練校 校長

この度は、卓越した技能者「現代の名工」という職人として最高の名誉ある賞をいただき、大変光栄に思っております。これも永年ご指導いただいた諸先輩方や良き仲間に恵まれた賜物と感謝しております。これからも、お客様に喜んで頂ける品物をお届けできるよう、微力ながら技能の伝承、後進の育成、業界の発展に尽力して行きたいと思っております。



神奈川県 建築大工

みうら さぶろう

**三浦 三郎** さん一般社団法人 日本建築大工技能士会横浜支部  
横浜協同建設会 理事

この度、卓越した技能者「現代の名工」として表彰され、身に余る光栄なことと心から感謝申し上げます。私はこの道70年ほど日本文化である木造在来工法を手掛けけてきました。最近では構造材を工場加工するので大工が組立屋になっているようで、これでは墨付けなどができるなくなることが心配です。微力ですが、後進の育成に尽力してまいり所存です。



青森県 建築大工

しみず ふくじ

**清水 福治** さん

株式会社 松本工務店 檀染

長年、好きな仕事を続けてきたことが認められ、大変光栄で有難く思います。この受賞に驕ることなく、さらに研鑽に励み、技能の伝承、後進の育成にも努め、今後、ますます少なくなるであろう建築大工が、魅力のある職業になるよう努力していきたいと思います。



埼玉県 婦人子供服製造

はたの ますよ

**波多野 真寿与** さん埼玉県洋裁技能協会 理事長  
埼玉県洋裁技能士会 理事

この度は卓越技能章の受賞に、身に余る光栄とともに身の引き締まる思いです。これまで出会い育てていただいた多くの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも小学生から高校生、一般の方達に「ものづくりの楽しさ、出来上がった時の喜び・感動、一生の財産となる体得した技能の素晴らしさ」を伝え、自身も体力の続く限り尚一層技能の研鑽に励み、ものづくりを楽しんで参りたいと思います。



大阪府 調理（日本料理）

むろた だいすけ

**室田 大祐** さん一般社団法人 大阪府日本調理技能士会  
代表理事 会長

この度は、最高の名誉ある卓越した技能者「現代の名工」をいただき、大変光栄であるとともに、責任の重さを感じております。今日までご指導くださった諸先輩、業界各位様のご支援があつての受賞だと、心より御礼申し上げます。

若輩者ですが、「料理人 一生勉強」ですので今後、より一層努力・精進し、技能の継承・伝承に努めてまいります。





愛知県 かわらぶき  
やのとしひら  
**矢野 敏平** さん  
矢野屋根工事店 代表

この度は、卓越した技能者「現代の名工」の表彰を受けましたことは、大変光栄に思っております。多くの方々のご支援があっての受賞だと感謝しております。

今後は、業界の発展と後進の育成に努め、また、瓦製造者の方々のためにも、屋根から瓦を1枚も落不下させない工法を伝承することが私の務めだと思っております。



東京都 調理（日本料理）  
いっしきけんじ  
**一色 憲治** さん  
一般社団法人 全日本調理技能士会連合会 常務理事

この度は、職人として最高の名誉ある「現代の名工」を受賞させていただき、身にあまる光栄であります。この道一筋に45年、良き職場、良き師匠、良き先輩に恵まれ、すべての人に感謝です。

これからも、食文化の発展のため、また、後進の指導、育成とともに、自身の技術の研鑽に精進してまいります。



滋賀県 調理（日本料理）  
きよもとけんじ  
**清本 健次** さん  
有限会社 清元樓 近江懐石 清元 代表取締役

この度は、名誉ある「現代の名工」を受賞できることは料理人として、身に余る光栄であるとともに、身の引き締まる思いであります。これまでご指導いただきました多くの皆様方と受賞に際し尽力いたしました皆様に、深くお礼と感謝申し上げます。

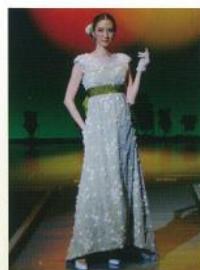
今後一層、料理道に精進し、技能の継承、伝承に努めて参りたく思う所存であります。



福岡県 婦人子供服製造  
しばたれいこ  
**柴田 玲子** さん  
公益社団法人 全日本洋裁技能協会 福岡支部 理事長  
Prego（プレーゴ）玲子 代表

“技能の世界は一生修行である”この言葉に魅了されて歩いて参りましたが、多くのお客様がいてくださって、一緒に仕事をしている人が居てこそ、この度の受賞に大変感謝いたします。

これからも諸先輩方のご指導とご支援を仰ぎながら、服作りへの無限の喜びを後進に伝えて参りたいと願っています。



秋田県 建具製作  
たむら いさお  
**田村 功** さん  
秋田県建具組合連合会 専務理事

この度は、卓越した技能者「現代の名工」の表彰を頂き、職人として大変嬉しく、光栄に思っております。惜しみなく技術を教えてくれた諸先輩方や、全国大会で競い合う仲間達、関係各位の皆様のお力添えの賜物と深く感謝申し上げます。

この受賞に倣ることなく、これからも技術の向上・修得に努め、後進の指導・育成、業界の発展に尽力していくたいと思います。



鹿児島県 調理（日本料理）  
とこなみしんや  
**床次 信也** さん  
一般社団法人 鹿児島県調理師協会 会長

この度、このような栄誉ある賞をいただけましたのも、これまで支えてくれた皆さんのおかげと、心より感謝しております。

これまでのご恩をかえすべく、今後とも料理道に精進するとともに、持てる技術はすべて次の世代に伝え、微力ながら業界の発展に力を尽くす所存です。



福島県 建具製作  
えんどう きよし  
**遠藤 清** さん  
福島県建具・木工組合連合会技能士会 会長

令和となり、時代の節目となる年に、卓越した技能者「現代の名工」を受賞することができましたことを誇りに思いますとともに、関わってくださいました皆様、家族の協力があつてのものと、心より感謝しております。これからも技能尊重・気運の醸成に努め、建具・木工業界の発展に尽くして参ります。



埼玉県 建築板金  
しぶや かついち  
**渋谷 勝市** さん  
渋谷板金工業株式会社 代表取締役

「現代の名工」の連絡が来たとき、正直驚きました。これまで関わってくださった多くの方々のお力添えで、栄誉ある賞をいただき感謝の気持ちでいっぱいです。高卒後、板金店で5年間技術を学び、当時、目にした竹の節や葉を再現した銅の細工に衝撃を受け、芸術的な魅力を改めて感じました。今後は、受け継いだ技術・技能の素晴らしさを、次世代に伝えていくよう精進して参りたいと思います。



令和元年度  
全技連マイスター決定

(30職種 100名)

「全技連マイスター事業」は、技能士が有する優れた技能と知識を次の世代に伝承することを目的として、平成15年度に創設されました。

全技連マイスターの活躍の場が徐々に増えつつあるという情報を各地から頂いており活躍が認められるようになってきています。

令和元年度全技連マイスター認定者（推薦団体別）

(一社) 北海道技能士会	大 金 慎 史	造園	(一社) 三重県技能士会	田 畑 憲 一	調理（日本料理）
	小 林 蘭 子	写真		向 井 浩 高	寝具製作
	寺 町 秀 和	鉄筋施工	京都府技能士会連合会	秋 間 俊 規	内装仕上げ施工
青森県技能士会	鈴 木 稲 子	和裁		内 方 正 行	表装
	玉 川 幸 広	調理（日本料理）		小 糸 太 郎	染色
	芳 賀 瑞 之	とび		鈴 木 章 義	和裁
	二 又 典 子	和裁		中 大 路 悟	染色
岩手県技能士会	佐 藤 治	表装		中 村 文 隆	写真
宮城県技能士会連合会	片 野 一 成	調理（日本料理）	兵庫県技能士会連合会	坂 本 貞 夫	調理（日本料理）
	戸 ケ 瀬 康 平	造園		中 西 優	塗装
山形県技能士会	齋 藤 勉	かわらぶき		宮 本 博 文	写真
	三 浦 淳 志	フラワー装飾		吉 盛 幸 一	かわらぶき
福島県技能士会連合会	本 田 充	漆器製造	和歌山県技能士会連合会	歌 晃 司	造園
茨城県技能士会連合会	高 須 喜 浩	かわらぶき		木 下 昌 幸	とび
	渡 辺 武 雄	型枠施工	香川県技能士会連合会	岡 満 喜 雄	調理（日本料理）
(一社) 群馬県技能士会連合会	石 田 昌 樹	建具製作		徳 永 正 典	建築板金
	高 橋 正 毅	建築板金		丸 西 浩 也	調理（日本料理）
	長 澤 和 正	調理（西洋料理）	愛媛県技能士会	梶 田 高 弘	左官
	真 下 清 人	建具製作		篠 原 伸 明	調理（西洋料理）
(一社) 埼玉県技能士会連合会	有 菌 直 美	フラワー装飾		寺 田 昭 彦	調理（日本料理）
	岡 崎 年 市	かわらぶき	(一社) 福岡県技能士会連合会	大 塚 泰 久	調理（日本料理）
	岡 田 英 治	畳製作		熊 丸 剛	畳製作
	三 浦 幸 治	電気機器組立て		副 島 正 英	フラワー装飾
(一社) 東京都技能士会連合会	熱 方 勉	寝具製作		生 津 春 代	和裁
	高 橋 紀 子	和裁		宮 原 正 治	かわらぶき
	田 村 佐 智 子	着付け	(一社) 熊本県技能士会連合会	杉 山 晃 二	調理（西洋料理）
	中 丸 規 弘	フラワー装飾		西 村 栄 敏	造園
	山 崎 秀 一	タイル張り		山 本 さ ち 子	フラワー装飾
	山 下 真 二	表装	鹿児島県技能士会連合会	佐 藤 隆 洋	建具製作
神奈川県技能士会連合会	石 塚 よ し 子	婦人子供服製造		下 地 良 一	とび
	齊 藤 健 次	調理（日本料理）		平 良 幸 広	とび
	鈴 木 浩	表装		前 泊 雅 昭	調理（日本料理）
	長 谷 川 元 春	左官		眞 玉 橋 朝 栄	とび
新潟県技能士会連合会	熊 田 克 彦	畳製作	全国寝具技能士会連合会	葛 谷 芳 乃	寝具製作
	佐 野 秀 之	調理（日本料理）		坂 部 恵 子	寝具製作
	田 中 政 之	酒造		丹 羽 拓 也	寝具製作
(一社) 石川県技能士会	岡 田 淳 司	レストランサービス		吉 田 幸 尚	寝具製作
	萩 田 勝 由	造園	(一社) 全国日本調理技能士会連合会	梶 原 信 治	調理（日本料理）
	萩 原 光 生	調理（日本料理）		近 藤 正 彦	調理（日本料理）
福井県技能士会連合会	櫛 田 実	造園		山 岡 孝 行	調理（日本料理）
	熊 野 佳 彦	とび	全日本貴金属技能士会連合会	江 寄 明 男	貴金属装身具製作
山梨県技能士会連合会	塙 澤 英 洋	内装仕上げ施工		鈴 木 和 則	貴金属装身具製作
	堀 内 正 吉	建築大工	(一社) 日本洋装協会	井 上 栄 子	婦人子供服製造
長野県技能士会連合会	藤 田 英 則	かわらぶき	(公社) 日本全職業調理士協会	富 田 勝	調理（日本料理）
(一社) 静岡県技能士会連合会	青 木 一 善	調理（日本料理）		平 田 修 治	調理（日本料理）
	井 嶋 広 充	かわらぶき		古 林 茂	調理（日本料理）
	芹 澤 國 夫	紳士服製造	(一社) 日本内装仕上技能士会連合会	澤 田 曜 男	表装
	種 田 和 義	調理（日本料理）		高 橋 正 幸	表装
	守 屋 勝 博	広告美術仕上げ	全日本椅子張同業組合連合会	麻 布 芳 弘	家具製作
(一社) 三重県技能士会	田 上 賢 次	調理（西洋料理）	全国内装技能士会	小 関 三 枝 子	和裁

令和元年度  
全技連マイスター更新認定者

(33職種 180名)

平成 26 年度に全技連マイスターに認定された者及び全技連マイスター更新認定された者のうち、  
5 年を経過して更新認定された方々は次のとおりです。

令和元年度全技連マイスター更新認定者（都道府県別）

北海道	平成 21 年度	遠藤 光江	和裁	埼玉県	平成 26 年度	前澤 公正	塗装
		首藤 一弘	建築大工	千葉県	平成 21 年度	山内 恒明	調理（日本料理）
	平成 26 年度	大玉 公輝	写真	東京都	平成 21 年度	岡田 芳江	和裁
青森県	平成 21 年度	木村 由記子	婦人子供服製造			角田 次衛	紳士服製造
		藤田 秀晴	建具製作			北村 一夫	寝具製作
	平成 26 年度	岩間 たつ子	和裁			木村 徹	調理（日本料理）
宮城県	平成 21 年度	齋藤 弘	造園			志賀 明子	婦人子供服製造
		庄子 喜隆	印章彫刻			島村 徳之	タイル張り
	平成 26 年度	伊藤 誠逸	造園			鈴木 直登	調理（日本料理）
		柏原 憲雄	調理（日本料理）			高橋 一博	貴金属装身具製作
		鹿野 佐一	調理（西洋料理）			富澤 三喜子	婦人子供服製造
		鈴木 正	調理（日本料理）			根本 達夫	和裁
		村上 優治	寝具製作			畠山 ミヨ子	和裁
		吉岡 宏一	表装			古屋 誠三	印章彫刻
秋田県	平成 21 年度	一ノ関 喜隆	建築板金		平成 26 年度	五十嵐 浩一	内装仕上げ施工
		猿田 由美子	婦人子供服製造			臼井 富美子	婦人子供服製造
		船山 智子	和裁			大河原 実	調理（日本料理）
山形県	平成 21 年度	安孫子 つや子	婦人子供服製造			上柳 征信	家具製作
		今野 久仁正	造園			佐伯 和義	塗装
	平成 26 年度	佐竹 正司	建築大工			重田 亮一	寝具製作
福島県	平成 21 年度	金澤 良吉	建具製作			仁科 明	タイル張り
		曾根 英昭	漆器製造			堀田 興平	建築板金
	平成 26 年度	宗像 良三	石材施工			山田 恵美子	婦人子供服製造
茨城県	平成 21 年度	飯田 保美	フラワー装飾	神奈川県	平成 26 年度	坂巻 正幸	調理（日本料理）
		知久 貴	建築板金			和田 清博	印章彫刻
	平成 26 年度	神原 陽一	防水施工	新潟県	平成 21 年度	齊藤 真澄	造園
		小嶋 弘	建築板金			西村 秀則	冷凍空気調和機器施工
		澤畑 寿秀	畳製作		平成 26 年度	洗谷 純希	貴金属装身具製作
		武井 昭二	石材施工			藤田 修	調理（日本料理）
群馬県	平成 21 年度	相澤 武男	表装			若月 仁	酒造
		青木 紹子	婦人子供服製造	富山県	平成 21 年度	須加 幸夫	かわらぶき
		久保田 努	内装仕上げ施工			福崎 幸雄	表装
		須藤 茂	建築板金	石川県	平成 21 年度	佐田 秀造	建築大工
		町田 勇	調理（西洋料理）		平成 26 年度	新木 節子	和裁
		吉野 敬子	和裁			小阪 広行	建築大工
		渡邊 弘	調理（日本料理）	山梨県	平成 21 年度	新海 安幸	表装
	平成 26 年度	大部 次男	調理（西洋料理）			古屋 孝夫	貴金属装身具製作
		小島 喜信	建具製作			古屋 はるみ	フラワー装飾
		林 秋男	左官		平成 26 年度	北井 久	調理（日本料理）
埼玉県	平成 21 年度	木内 千草	婦人子供服製造			清水 浩二	畳製作
		島田 浩一	畳製作			深澤 芳次	石材施工
		仲 洋子	婦人子供服製造	長野県	平成 26 年度	北村 直昭	調理（日本料理）
		布川 活治	かわらぶき			松沢 登喜子	寝具製作
		藤巻 今朝男	貴金属装身具製作	岐阜県	平成 21 年度	平田 慎治	かわらぶき
	平成 26 年度	小林 靖史	建築大工		平成 26 年度	笠井 敬久	調理（日本料理）
		佐藤 鉄夫	塗装	静岡県	平成 21 年度	大堂 英澄	建築大工
		鈴木 力ネ子	婦人子供服製造			鈴木 学	調理（日本料理）
		塙田 孝司	表装		平成 26 年度	内田 敦志	かわらぶき
		橋本 健次	建築板金			小栗 百合子	和裁

**令和元年度全技連マイスター更新認定者（都道府県別）**

静岡県	平成 26 年度	仙田 治興	広告美術仕上げ	山口県	平成 26 年度	岡部 達矢	園芸装飾
		土屋 利治	寝具製作			梶本 剛史	調理（日本料理）
		望月 学	調理（日本料理）			久保 義徳	型枠施工
愛知県	平成 21 年度	榎原 瞳	寝具製作	香川県	平成 21 年度	森澤 明美	和裁
		杉山 福夫	調理（日本料理）			樺村 政代	和裁
		平成 26 年度 小久保 新吾	寝具製作			坂本 照美	和裁
三重県	平成 21 年度	崎 正美	調理（日本料理）	愛媛県	平成 26 年度	白井 保浩	石材施工
		高田 和幸	調理（日本料理）			春瀬 隆昭	とび
		井上 利武	帆布製品製造			宇野 保夫	表装
滋賀県	平成 21 年度	吉田 功	調理（日本料理）	福岡県	平成 21 年度	野首 良	フラワー装飾
		平成 26 年度 馬場 幸次	建具製作			吉崎 順一	調理（日本料理）
		山本 長生	左官			内田 順子	フラワー装飾
京都府	平成 21 年度	金納 三利	調理（日本料理）	佐賀県	平成 26 年度	菊池 辰也	調理（日本料理）
		井上 俊哉	建具製作			熊谷 裕二	かわらぶき
		山口 昌行	表装			佐々木 寛	フラワー装飾
大阪府	平成 26 年度	下村 祐一	建築板金			平山 知生	造園
		渡邊 廣之	塗装			岩永 克也	調理（日本料理）
		栗山 健作	寝具製作			久保田 義秋	墨製作
兵庫県	平成 21 年度	上田 亨二	広告美術仕上げ			常岡 福則	貴金属装身具製作
		羽鳥 義一	表装			永松 勝博	造園
		和田 行雄	石材施工			西木 廣幸	調理（西洋料理）
奈良県	平成 26 年度	岩田 明	石材施工	佐賀県	平成 21 年度	市川 龍男	陶磁器製造
		大西 教博	造園			井手 一雄	建築大工
		松田 伸一	表装			長崎県	平成 21 年度 川端 明
島根県	平成 21 年度	桂 正美	婦人子供服製造	熊本県	平成 21 年度 上野 明男	調理（西洋料理）	造園
		鈴木 孝育	調理（西洋料理）			落合 三郎	塗装
		古塚 恒則	表装			脇宮 盛久	調理（日本料理）
岡山県	平成 26 年度	森田 茂樹	石材施工			木下 順	塗装
		佐伯 省吾	調理（日本料理）			村田 政文	調理（西洋料理）
		岡田 佳子	フラワー装飾			吉田 和生	造園
広島県	平成 21 年度	上山 玉喜	婦人子供服製造	大分県	平成 21 年度 篠田 宏之	篠田 宏之	塗装
		舟木 清	建具製作			原田 進	左官
		野村 照子	婦人子供服製造			宮崎県	平成 26 年度 神野 俊吉
山口県	平成 26 年度	藤原 鈴代	和裁			黒木 廣利	造園
		高田 浩司	紳士服製造			後藤 克信	造園
		西山 達也	表装			山元 百合子	婦人子供服製造
鹿児島県	平成 21 年度	中原 月男	調理（西洋料理）	鹿児島県	平成 26 年度 上原 充久	上原 充久	塗装
		高山 昭俊	造園			平田 廣志	建築板金
		津山 朱實	フラワー装飾			沖縄県	平成 21 年度 桑名 勝俊
沖縄県	平成 26 年度	村上 暢英	塗装			親泊 スミ子	フラワー装飾
		荒木 泰司	建築大工			島袋 つる子	婦人子供服製造

# 全技連「匠の技ネット」～技能士のいるお店～ インターネットでみなさんのお店を紹介してみませんか？

「技能士のいるお店」は、技能検定1級・単一等級以上及び全技連マイスター認定者の方が掲載できます。

★トップ写真の掲載は2つのパターンからお選びいただけます。


**パターン A**  
草津温泉 さんぶる館



**SAMPLE**

| トピックス

・ イベント〇〇〇〇を開催します。  
【開催】2011年06月10日～2011年07月31日  
 サンプルさんぶるサンブルさんぶるサンブルさんぶるサンブルさんぶるサンブル  
 さんぶるサンブルさんぶるサンブルさんぶるサンブルさんぶるサンブルさんぶるサンブル

**トップにメインとなる写真を  
1枚大きく載せたい場合にお選びください。**


**パターン B**  
草津温泉 さんぶる館



**SAMPLE**

| トピックス

・ イベント〇〇〇〇を開催します。  
【開催】2011年06月10日～2011年07月31日  
 サンブルさんぶるサンブルさんぶるサンブルさんぶるサンブルさんぶるサンブル  
 さんぶるサンブルさんぶるサンブルさんぶるサンブルさんぶるサンブルさんぶるサンブル  
 さんぶるサンブルさんぶるサンブルさんぶるサンブルさんぶるサンブルさんぶるサンブル

**複数の画像(2～4枚)を  
載せたい場合にお選びください。**

**技へのこだわり**

- 旬の素材を使った曾石料理

四季折々の季節感を演出しながら、お客様に満足していただけるお料理を目指して運営っています。地元でとれた新鮮な野菜を使い喜んでいただきしております。



**離れ風 日本情緒の宿**

○○○○○○の別荘地跡です。できるだけ庭園の樹木を自然のままに残し、熱海の街中とは思えない緑に囲まれたかくれ宿です。



**SAMPLE**

**技能士紹介**

山田 太郎	
-------	---

さんぶる曾料理長。この道一筋30余年、ひたむきに食事を追求してまいりました。平成33年度東京都優良調理師受賞、平成33年度東京都優良調理師受賞、平成33年度東京都優良調理師受賞、平成33年度東京都優良調理師受賞、平成33年度東京都優良調理師受賞、平成33年度東京都優良調理師受賞、平成33年度東京都優良調理師受賞、平成33年度東京都優良調理師受賞。

**基本情報**

店舗名 草津温泉 さんぶる館  
 代表者役職名 代表取締役 山田 太郎  
 技能士役名 山田 太郎  
 単一等級認定技能士  
 全技連マイスター認定  
 店舗所在地 〒000-0000 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇 [\[MAP\]](#)  
 電話番号 0000-00-0000  
 FAX番号 0000-00-0000  
 Email [sample@example.com](mailto:sample@example.com)  
 URL <http://www.sample.com>  
 営業時間  
 定休日  
 最寄駅 新幹線〇〇駅 徒歩〇〇分(タクシー〇〇分)

**【技へのこだわり】**

技能・技術や作品の紹介をするスペースです  
(2項目まで)  
 項目の内容や写真など変更できます  
(変更手数料がかかる場合がございます)

技能士の方のプロフィールを顔写真付でご紹介します  
 ホームページをお持ちの場合は掲載原稿に記載していただければリンクいたします

<b>□ 登録料</b>	※1 会員： 無 料
	非会員： 15,000円
<b>□ 年間掲載料</b>	※2 12,000円
<b>□ 変更手数料</b>	※3 2,000円

※ 1 一般社団法人全国技能士会連合会の正会員である技能士会・連合会等に所属している技能士の方。  
 ※ 2 初年度のみ、掲載時期により年間掲載料が減額になる場合がございます。  
 ※ 3 年5回までの内容の変更是無料  
 ただし、バージョン変更は変更回数に関係なく2,000円となります。

お申込み・お問合せは (一社) 全国技能士会連合会事務局まで

発行人： 一般社団法人 全国技能士会連合会

〒 162-0844 東京都新宿区市ヶ谷八幡町 13 番地 東京洋服会館 6F  
 TEL 03-5946-8791 FAX 03-5946-8792  
<http://www.takuminowaza.net/>